

基幹学習ユニットからの提案

—既存の教科内容を生かして新しい学びを—

市川伸一(東京大学教育学研究科)

<http://www.p.u-tokyo.ac.jp/lab/ichikawa/>

基幹学習ユニットのテーマ

● 基幹学習とは

従来のカリキュラムで中心的な存在であった国語、社会、数学、理科、外国語、といった教科内容的な学習内容そのものは、そのまま社会で使われる知識・技能とはならないものも多い。

生徒としても、テストのための勉強になりがち。

どのようにして、生徒にも「意義あるもの」にするか

社会に生きる学力としての基幹学習

情報や活動を与えることによって、新たな文脈におき、学習の再組織化をはかる。

4つのプロジェクト

学習のしくみや方法についての学習(メタ学習)

学び方学習プロジェクト

広い視点から言語的あるいは数理的知識を統合

メタ文法プロジェクト、数理能力プロジェクト

教科横断的な探究的学習活動へと展開

探究学習プロジェクト

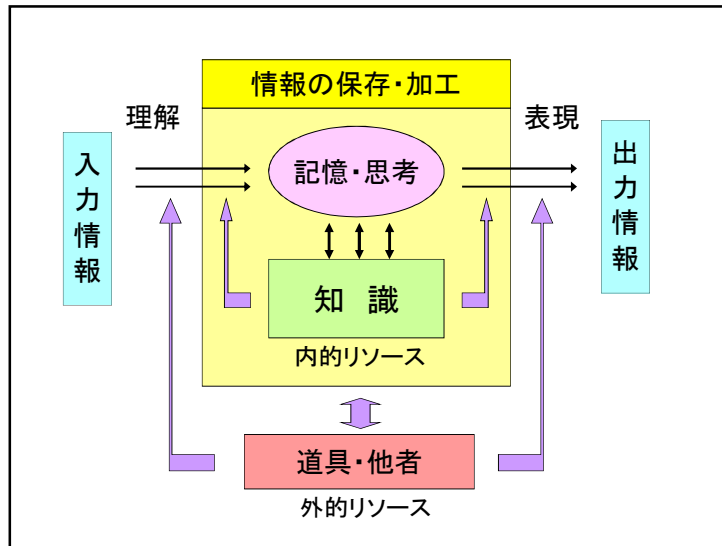
学び方学習プロジェクト

教科の学習の位置づけ

「内容を学ぶ学習」と同時に、
「学習のしかたについて学ぶ機会」

総合的な学習の時間：学習に関する認知心理学的基礎
各教科ではそれに沿った学習方法を経験

中1から高2まで、しだいに内省を要するメタ的な心理過程を
主要テーマにするよう、カリキュラムを配列



認知心理学から見た「理解の深まり」

- **浅い理解から深い理解へ**
知識の関連づけの成立
断片的な知識から構造化された知識体系へ
- **理解の深まった状態とは**
自分の言葉で説明できる
質問に答えられる
類似問題に応用できる
- **理解を深めるための習得学習のサイクル**
受容学習／能動的表現／問題解決・討論／教訓の抽出

理解を重視した学習法の例

原因・理由をつかむ

理科：海風と陸風（昼はどっち？）

社会：「歴史の流れ」ノート作り

人に説明する

用語の意味：平行四辺形、逆数、反比例

問題の意味、問題の解き方など

間違いから教訓を引き出す

ミス、誤解、解き方のポイントなど

学習観：どんな学習方法がいいと思うか

- | | | |
|-------|---|--------|
| 練習量重視 | ↔ | 方略重視 |
| 丸暗記傾向 | ↔ | 意味理解重視 |
| 結果重視 | ↔ | 過程重視 |
| 落胆傾向 | ↔ | 失敗活用 |

↑
中学・高校で重要

メタ文法プロジェクト

これまでの言語学習

国語(現代文、古文、漢文)、英語と教科ごとの学習
相互に比較対照しながら、共通点・相違点に気づく
現在および将来の言語学習が組織化されるように

中3以降に、「アンカーカリキュラム」

構文や談話構造について教示し、気づきを促す

重要な「核概念」

修飾・被修飾関係、語順、主語と目的語、時制、敬語など

数理能力プロジェクト

これまでの数学の学習

学年が上がるにつれ、抽象的な内容

日常的事象や理科的内容と結びつけることによって、
社会で生きたものとなることに気づかせる。

数学の単元はじめに、日常的な問題を提示

新しい概念を用いるとよりうまく解決できる経験

単元の終わりにも、習得した知識・技能で日常的な課題解決

より深い概念的理解へ

探究学習プロジェクト

教科や総合での探究学習のねらい

大学や社会の中でも生きてくる問題解決の方法
そのための情報や知識の受信・発信の技法

受信: 図書館やネットの役割の理解と活用

送信: 文章のまとめ方、発表のしかた

各教科、総合の中で、こうした探究学習スキルをカリキュラム
化し、相互に活用できるように

教育課程編成のこれまでとこれから

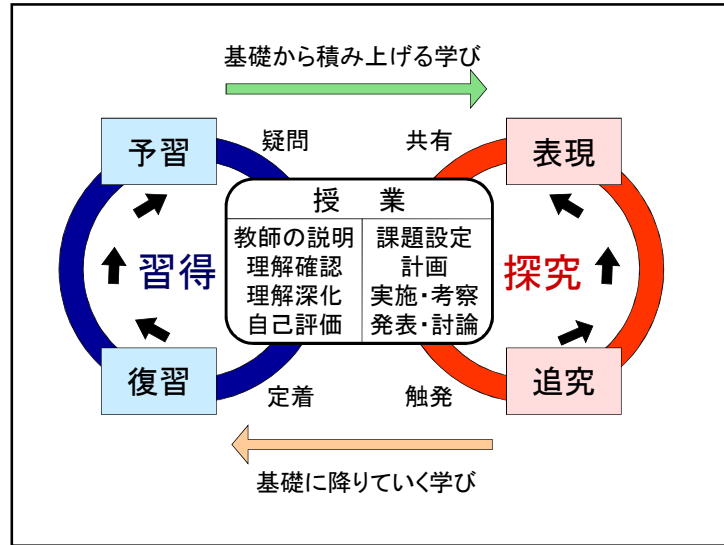
現行学習指導要領(2008年改訂)のねらい

確かな学力: 基礎基本と、思考力・判断力・表現力
時数・内容の増加、基幹学習の重視
習得一活用一探究のバランス、教科横断的に言語力

実施状況

全国学習状況調査: A問題、B問題で趣旨を徹底
自治体、学校の指導改善/都道府県の格差縮小の方向
PISA調査: 2009年度、2012年年度で、大きく上昇

子どもにとって、社会にとって、より意義のある学びへと組織化



関連図書紹介

- 『開かれた学びへの出発ー21世紀の学校の役割』 (市川著、金子書房、1998)
- 『学力低下論争』 (市川著、ちくま新書、2002)
- 『学力から人間力へ』 (市川編、教育出版、2003)
- 『学ぶ意欲とスキルを育てる』 (市川著、小学館、2004)

- 『勉強法が変わる本ー心理学からのアドバイス』 (市川著、岩波ジュニア新書、2000)
- 『勉強法の科学ー心理学から学習を探る』 (市川著、岩波科学ライブラリ、2013、8月刊)

- 『「教えて考えさせる授業」を創る』 (市川著、図書文化、2008)
- 『「教えて考えさせる授業」の挑戦』 (市川編、明治図書、2013、7月刊)